

平成27年度草の根文化無償資金協力

プノンペン都武道場 完成式典開催

平成27年12月12日（土）、草の根文化無償資金協力案件（供与限度額：102,780米ドル）により供与されたプノンペン都武道場の完成式典が、プノンペン都武道場で開催されました。右式典には、ハン・チュン・ナロン教育大臣、日本国大使館から隈丸大使が出席して祝辞を述べるとともに、その他武道競技者約100人が参列しました。

本案件は、プノンペン都の中心部に位置する「オリンピックスタジアム」内に武道場を建設することで、武道の活動の場を整備し、武道競技人口を青少年を中心に広げることを目的に、2015年3月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典の運びとなりました。

式典では、まず司会者が来賓を紹介した後、ノン・ラウト・カンボジア合気道協会会長によるスピーチが行われました。続いて隈丸大使がスピーチを行い、「武道は身体的な鍛錬のみならず、礼儀や道徳といった精神的な鍛錬も重視したスポーツである。若い世代の競技者が武道を通じ、カンボジアの未来を担う人徳のある人材となることを願う」と述べました。その後、ハン・チュン・ナロン教育大臣がスピーチを行い、「この度武道場を供与して頂いたことに対し、日本政府及び日本国民に感謝を申し上げる。スポーツ分野は教育省としても今後重点を置いていきたい分野であり、本武道場を通して競技者の身体・精神の両面で向上されることを願っている」と述べました。その後、両氏によるリボンカット、武道場内見学、演武鑑賞が行われ、式典は無事終了しました。



▲式典の様子。



▲ノン・ラウトカンボジア合気道協会会長。



▲隈丸大使によるスピーチ。



▲ハン・チュン・ナロン教育大臣によるスピーチ。



▲ノン・ラヴットカンボジア合気道協会会長によるリボンカット。 ▲隈丸大使によるリボンカット。



▲ハン・チュン・ナロン教育大臣によるリボンカット。 ▲演武（合気道）。





▲演武（ポッカタオ（カンボジア武術））。



▲演武（剣道）。



▲演武（剣道）。



▲集合写真。



▲集合写真。



▲本案件で供与。